



絆～きずな～

唐津市立東唐津小学校
 学校だより 第32号
 令和元年10月1日
 文責:校長 吉村 修治

しっかり仕事をする東唐津っ子

火曜日は縦割り掃除の日。子ども達が掃除をしている様子を見て回りました。そこで気が付いたのは、だれ一人遊んでいる子がいないということです。全員が一生懸命に掃いたり拭いたりしています。班長の6年生がしっかり指示や分担をして、みんなが自分の担当をがんばっています。

東唐津小の合言葉は「ひびきあうあいさつ ががんばる勉強・読書 ししっかり仕事」です。校舎が古くて、人数も少ないので掃除をするのは大変ですが、校舎を磨きながら心もピカピカに磨いています。

3年生の授業研究会 「算数」あまりのあるわり算



9月25日(水)に、3年生の授業研究会を行いました。今年度の東唐津小は、「主体的に学び、確かな学力を身に付ける児童の育成」という研究主題で、国語と算数を中心に、子ども達が主体的・対話的で深い学びができる授業の在り方を研究しています。3年生は、わり算のあまりを答えてどう使うか懸命に考えていました。次回は1年生の「国語」で授業研究会です。2学期のうちに、全学年で研究授業を行う予定です。

「〇〇の木」10月は、ありがとうの花

9月の「がんばりの木」では、たくさん子ども達が仲間のがんばりを見つけて葉っぱのカードを書いてくれました。10月は「ありがとうの木」です。親切にしてくれた仲間やみんなのために頑張ってくれた仲間へ感謝の気持ちをこめて花のカードを書きます。たくさんのお花が咲くことを楽しみにしています。



百聞は一見にしかず、百見は一考にしかず、百考は一行にしかず

10月の全校朝会で、「百聞は一見にしかず」という諺の話をしました。ご存じのように、「人から何回も聞くよりも、自分の目で見て確かめた方がよく分かる。」という意味です。これには続きがあります。「百見は一考にしかず」は、「何回見ても、考えなければ意味がない」ということです。また、その続きの「百考は一行にしかず」は、「たくさん考えるより、行動することが大切だ。」という意味です。今回の修学旅行やバス旅行では、たくさん見て考えてきてほしいと思います。また、日ごろから目当てや計画を立てるだけでなく、実際に行動できる子どもに育ててほしいと思います。さて、台風18号が心配ですが、子ども達のお土産話を楽しみにしておいてください。

※ 裏面に、5年生の宿泊体験学習の感想と写真を載せています。ぜひご覧ください。